

笠岡市新山公民館 川柳講座

●川柳講座を立ち上げた「おもい」

当地域は、少子高齢化が進んできており、ともすれば次第に地域全体に活気の機運、話題が希薄になってきていた。5年前、「愛ラヴ・ふるさと“絆”で拓く もっと自慢できる新山 ずっと優しい新山」を公民館活動の合言葉にした。そこで・・・
1、滑稽でユーモラスな面白さ、親しみやすい講座を立ち上げよう！
2、誰もが、普段着で入会できる川柳講座が良いのでは！
3、川柳を通して話題の少なくなってきた地域活性化の一助に！
ということで、一人でも多くの方々が川柳ファンになって、地区民同士のコミュニケーションの和が広がることを期待して川柳講座が立ち上がりました。



●内容

◎毎月第1月曜日 13時から15時 先生1名、講座生8名

- 1、先生から翌月の「兼題」が出される。生徒は、2句を先生に事前投句する。
- 2、事前投句の全句（無記名一覧表）から自分以外の好きな2句を選んで得票を競ったり、これはだれの句か当たりして、ゲームをしながら楽しんでいる。
- 3、先生から、事前投句の一句一句を評価、添削してもらい、ひとりひとりが一喜一憂しながら川柳の知的向上に繋げている。



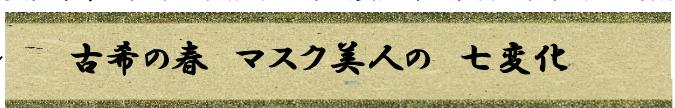
●成果

◎最近は、他所の句会、大会、各種啓発川柳に積極的に参加や応募するようになっている。

（最近の主な入賞作品等）



- ・最優秀賞 笠岡市木山捷平文学選奨
- ・優秀賞 岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会
- ・優秀賞 2点 笠岡市老連川柳コンクール
- ・臘月賞秀句 川柳総合雑誌月間川柳
- ・第四席 山陽柳壇
- ・笠岡川柳会 講座生は、毎回投句
- ・公民館文化祭に作品出展
- ・地元八幡神社に作品奉納



●相乗効果

- 1、メモ帳を携帯して吟句意欲がわいている。
 - 2、句想を練ったり、吟行散歩が増えて、頭の体操や体力増強運動に役立っている。
 - 3、思いどおりの句ができた時の喜びは、リフレッシュに繋がっている。
 - 4、川柳に関心を持ってくれる高齢者も増えて、お互いに対話が弾むようになり、地域活性化に役立っているように思っている。
- ◎5年前に川柳講座を立ち上げて良かった。今後、子ども目線での川柳ミニ大会を考えている。

